0031923000

0031923-000

748－134

統計学文献

大阪統計談話会・編

大阪統計談話会

上

昭１３

AFA

748
134

ヨ16P96

統計學文献

上

大阪統計談話會

748
134

統計學文獻

—(上)—

大阪統計談話會編纂刊行

昭和十三年十二月發行

748
134

例　言

1. 統計学文献目録は統計学の発達を回顧し又今後の研究の手引となるものであるが、現今では岡崎文規氏著『統計研究文献』（大正14刊）が稍〻親切なる解説の書となつてゐるが、その後の統計学の発展は日進しく多くの文献の簇出した今日の用には堪えず、統計学講論書に簡易なる目録を附した之が用に充てゝみる欲望でこの不便を補はんが為編者の備忘録中より適宜取捨して一書に配列することゝした。

2. 本目録は全3編に分ち　第1編　日本統計学書目録　第2編　日本統計学関係雑誌論文目録　第3編　外国主要統計学書目録とし、各編に簡易なる解説を附し著者索引及び発行年次別索引を掲げた。

3. 目録の配列は総論、各論に2大別し世の一般の分類に従つたが、経済統計学の名を附した書で内容は統計学原理を解説したる如きものは何れもその書名によつて区別した。又統計的研究の書は努めて掲記したが書名によつて判断し難いものは脱漏したることゝ2，3に止まつてゐない。

4. 著者の一部に統計的解説や理論を記述したものは掲ぐるの煩に堪へないから概ね省略に従つた。例へば速水滉氏著『論理学』の中「統計及び蓋然量」や、又上野直昭氏『精神科学の基本問題』（原著ヴント）の中に数ヶ所統計を述べたる如きである。

5. こゝに收載したものは編者の眼に触れたるもの、及び著名なるものに止まり、多くの脱漏や書名その他に誤謬のあることを痛感する世の篤学者の補正を望むと共に編者自らも補遺に努力するつもりである。

6. 目録（第1編）の記載順序は

番號　書　名（数冊に亘る場合は冊数）著者名

発行年月　頁数　発行所

とし著者名は編者又は訳者を含み、発行年月は概ね初版の年月により、頁数の先に「謄」とあるは謄写本を「写」とあるは写本を示し、又訳書は下に（　）を附して原著者及び原書名を附記して比較に便ならしめた。番号は便宜上附したるもので「X」印あるものは未刊の書を示した。

昭和13年6月

大阪統計談話會

目　録

例　言

第1編　日本統計學書目録

解　説　日本統計学書史略説

目録・索引

事項別目録 …… 1

A. 文献解説（1）　B. 総　論（3）

C. 数理統計（17）　D. 人口統計（19）

E. 経済統計（23）　F. 社会統計（35）

G. 文化統計（37）　H. 図　表（39）

I. 其　他（42）

著者別索引 …… 43

発行年次別索引 …… 55

附　録　雑誌一覧

第 1 編

日本統計學書目錄

解　　説

日本統計学史略説

1 緒　　言

本目録の一個の解説として書史の概要を述べようと思ふ。

何に拘らず学的な歴史叙述が達成せられる為にはその学に対する根本的な批判、見地、方法論が確立し綜合的に見てゆかうとする情熱が之に先立たなければならない。書史に於いても同じことが言へるのである。しかもそこでは統計学自身の発展と常に相関的に動いてゆくものがある。然るに現代の統計学界は私の理解し得た範囲ではその学の定義の数の多き如く混沌たる有様で、之を綜合して明確なる体系を与へるには、七十年の経過を見て来た今日以後の課題であるかもしれない。だから本稿に於いては勢ひ書史としての体系を与へるよりも、一應の見通しを与へる為の目録の総括と解説になってしまふことは、歴史的な私の理解の不足以外に日本統計学史自身の現段階の上には、また止むを得ないことかと思ふ。

科学的な意味での書史とは、一体系としての学書の生成過程である。それは統計調査、統計学理論の発達過程を背景に置いた社会的な或ひはその学問的な必然の経過の間に、如何なる学書が生成せられそれが社会上に又は

学問上は如何なる意義を持ち、その後の発展に如何なる役割を与へ地位を占めたかの秩序づけである。即ち一つの著作といふものも、非常に個人的な労作に見えるけれども、社会経済的な動き、更にその上に動く学問自身の社会的な発展の経路から外れて作られてくるものではないとする私の見解によるのであるが、本稿ではかゝる科学的な論考に進めることが出来なかつたのは上述の通りである。だから従来の書史の不統一な形式を踏んで、著名な学書の二、三を摘録した解説であるかの感を与へるであらうが、之の体系づけは今後の進歩に俟たねばならぬであらう。

2 日本に於ける統計学発達の概観

第一に統計調査発達の過程を九観すると、1.官廳統計中心の時代　2.私統計勃興の時代（官廳統計反省の時代）3.私統計隆盛の時代とせられるので、勿論時代をその三つに判別しても発展が一聯のものである限り何者をも示さないが、時代的特徴を端的に表現し得るので、統計学に於いてもその発展は統計調査に従ひ又理論の確立が次の調査を生んでゆくに至るので、こゝではかりに次の如き区分を施して特徴の把握に便しやうと思ふ。即ち
1.翻訳時代　2.外国系統学説時代　3.独創的研究時代といふ三大別によつて見てゆかう。

第一の時期では官廳統計が古い時代より実施せられて来たもので、それが明治以来外国調査法の輸入により之を確立しそれを新たに学問的に基礎づけ社會的に明確なる意義を与へて発展させやうとした意向から、更に官廳統計を批判し解説し利用して社會状態を研究せんとする意図に迄発展し、官廳統計の調査機関や調査方法の研究に主力が注がれ、従つてそれは人口統計を中心にしてゐたもので、統計学体系として見れば、外国の著書をそのまゝ輸入して翻訳し、統計学の大要を努めて把握することに心懸け、又真の智識の世間的な普及が主目的であつた。之は明治の欧米文化心酔の一つの流れで、統計学理論が外国の理論と方法をそのまゝ移植し日本的なる思惟が加へられてゐなかつたもので、翻訳と云ふことが統計学がこの国に育て得る基礎をなすものであつた。

第二の時期では私設の統計研究團体が実質的調査研究に乗り出し、そこでは経済現象の研究が主になつて来てゐる。官廳統計が進歩したる経済統計の調査に進んだのは直接にはそれら私設統計團体の刺戟が与つてゐるので、学的には外国の学風を受けついだ日本の学者が多々の著作を出し、又獨創的な努力があつても外国の学説の何等かの意味での延長であつたと見られる。即ち次の時期への過度的な時期に位地を占めてゐるのである。

第三の時期では統計といふことを私人の生活内容にまで持ち来した所に一段の進歩があり、こゝで政治的な目的が一應清算され、先の経済統計で社會的なものとなつたのが更に吾々の実生活の為のものとされた。即ち経営統計の勃興がその著名な一例である。その学的な一方の針路はわが國獨特の学説の出現といふことにあり、外國学説への追隨的態度を止揚して明確な学説を見るやうになつてゐる。今日の所ではそうした看言は極めて僅少でむしろ今後の学的展開にまつべき問題であらう。

3. 統計学書史の概観　その一

以下に書史の概略を形式的に且つ通俗的に覧見して見やう。

イ. 統計学初期勃興時代　統計学史の出發点と見るべき問題については、それが学的な体系を与へられる以前には、統計学的な系統立つた観念体が存するので統計学は実にそれの学理的な再構成、体系的完成である。その刺戟と必要は資本主義社會と近代國家の出現によるものであつたが、我國の統計学は概に欧米諸國で体系つけられたものの直接の移植であつて、既に近代統計学に重要なる発足点を印しつけたケトレーは1,840年より60年

頃に重要な著作を發表し社會統計学として大成したもので、さうしたものゝ輸入からわが学界は近代國家の成立と同時に豊富なる世界の智識をもつことが出来た。從つて永い民族の心理の中に徐々に醸成せられた統計的心理や思想を含めると云ふことは極めて軽少であつたといへる。

註　我國に於ける統計学発達の基礎となつた様な私の云ふ統計学的観念体については財部静治博士「社會統計論綱」「統計学」中の随処に見られる。又人口調査や或種の経済調査が太古より行はれて来た所に統計調査史を需め、それに関係つけやうとすることも今普通に行はれて居る歴史的な無批判さを除けば不可能のことではなかろう。有澤廣巳氏「統計学講義」には之を統計学前史といひ松崎苑之助、博士「統計学汎論」には統計術といふ名義を用ひてゐる。

わが國に於ける世界的交感のひろまりについて統計学的思想があらはれ福沢諭吉「文明論の概略」には既にスタケスケツクなる語を選べてゐるが、学的な確立は杉享二博士によつてなされたことは著名の事実である。

註　杉享二自敘傳（大五六年十一月刊）横山雅男氏「統計通論」目笠研太氏「杉享二博士と明治維新の統計」（統計学雑誌617—）横山雅男氏「杉享二

先生略傳」（浪華の鏡 1－10）等参照

杉博士の論文は雑誌に數種見られるが博士の遺稿は東京帝大の故吉田東伍博士に触れなかつた。しかしこれ迄の下岡諸氏は水産家の見識家で理論家実務家際の統計学者であり、特に高橋是清氏は直後の蔵相として実際の方面を主として統計の方面を主として、寺内正毅氏は陸軍大臣として遺産統計の方面を主として、河合良成氏は農林大臣として水産統計の方面を主として、何れも多年の著作の中にこれを物語つてゐる。

明治17年文部省では箕作麟祥氏訳の「統計学」を出版した。之は一名「国勢略論」と云ひJonnésの訳書であり、この独逸の先駆である。而して爾後約10年間同様の訳書は数種出版せられてゐる。

註　大正14年統計学社は「統計叢書」の発刊を企て、この時期の著作を収録してゐるが惜しいことには第一巻のみしか見る事が出来ない

明治20年頃より杉博士以下の諸氏が多くの著書を出し、就中吳文聰氏は明治20年「統計評説」を発刊したるを初め、訳本、著書併せて等身に余るものがあり、訳書に於てはMayo Smithの「社会統計学」（明治33年）及び

「経済統計学」（明治35年）に於てはこれ迄の大成したる理論的に何等かの意向があり、それは実際統計学として大成せられたものであると見られやう。

註　吳文聰氏については「吳文聰」（逝去記念録）参照

即ちかうした経過を辿る中にそれを国勢調査の作られて居りそれは次の宮廷統計に対する反省となつてあらはれて来たのである。

又、宮廷統計吟味の時代　宮廷統計機関として設けられ整備して行つた宮廷統計局の前身たる欽定憲法の表徴が設けられ整備したのは明治42年であつて、その後機構を公表する方面に応じて重要な諸種の調査を実施し公表する一部につれて、その批判や実務の改良といふ等の問題への怒ぶは、統計学の理解が当局者間に深まるにつれて濃厚となり、この人々の間に於ても多くの著作もあらわれて来た。即ち和田垣氏「統計事務家必携」は明治15年に出版せられてその嚆矢となつたが、国松佐氏の「改訂統計学」（明治39年）も専らこれへの意図であり、以後産業統計にも次第に多き力を加へて行つてゐる。それと共に今一は国勢調査実施運動の高まりであらはれて、明治35.6年頃よりその実施の機運の多くの著作があらはされてゐるのである

註　この論文を通じて明らかにされたことは、当時の統計学界の傾向がよりよく了解出来るであろう。

然るに明治34年（1901年）に至つてはじめて統計学は発達せしめられたものであつて、この間の事情は、横山雅男氏の「統計通論」（明治34年）に於て、その一端を窺ひ得る。そこでは統計学は基礎的な学問であるとの見地から、官廳統計の実査、統計調査の方法、統計学の歴史、統計学の体系、統計学の目的、統計学の性質、統計学の方法、統計学の沿革、統計学の効用、統計学の教授に関する諸問題、統計学の教授に関する諸問題、統計学の教授に関する諸問題

活の上に如何に利用せらるべきかの反省が加はつたのである。それは一方で統計学の理解を理論的に深めると共に主としては経済統計に於ける活動にあつた。

前者に於ける理論的な深みを加へることの一例としては、数理統計が一分科として研究されて来たことに見られる。而してそれは小倉金之助博士の「統計的研究法」（大正14年）に於いて大成せられたと言ひ得べく、その後に於いても中川友長氏「統計研究法の基礎」（昭和3年）なる真摯の研究があり、又成実清松、松村宗治諸氏の「数理統計学」の名の下に多くの著書を見ることが出来る。

今一方の経済統計学は最初経済統計又は経済統計論といふつゝましい名目で以て、専ら経済事象の統計的研究を目論んだもので、汐見三郎博士「経済統計研究」（大正12年）にそれを見られる。又その科学的な企てとしては藤本幸太郎博士「経済統計学上」（大正12年）があり、その後者の中に含まれた二つの方面、即ち方法論と実体論の論争となつて発展したがこの論争は直接には世界統計学史上の興味ある問題たる独乙派と英米派との論争の国内的継承である。而してこの場面に上つたのは前記の大学に於ける初期の統計学専攻者の間から出た当時の新進学徒が一様にこの刺戟に向つて進んだので、小林新、郡菊之助、田村市郎、蜷川虎三の諸氏が特に経済統計学の表面

に活躍したのである。又統計学の他方面への拡充は社会統計、文化統計の側に及び、岡崎文規博士の諸労作は著しく多彩なる色あひを示してゐる。

しかしさうした黄金時代かに見える中にも学派は専ら欧米学界の影響を受けた為に英米派と独乙派との論争がわが国にも齎されたのみで、その学説の何等かの意味での延長が主要なる流れとなり、日本的な一個の理論として日本統計学に明確な規定を与へる作業は以上の学的労作の経過を辿つた後に見られることで、例へば蜷川虎三博士が大量観察法と統計解析法とを一体系に合一せしめた如きが統計学史上に占める最大の功績であるといはれる通り、こゝでは統計学発達史の現段階はつきりと今後の指標を置いたのである。

ホ.統計智識普及の時代　前期の過渡期から、統計学が純粋の理論の学に終止するものでなく理論を生かして実際の社会経済生活に役立たしめてゆく作業があらはれるのは必然で、その方向は恰も後期資本主義経済の極盛にあつた時代的影響の為に企業の実利的方面への利用となつて経営統計の異常な隆盛を見たのである。その一つは景気変動、物価指数等の理論的研究として企業統計の外的要素を基礎づけ、又その内的要素として企業経営統計が小林新、郡菊之助、蜷川虎三、田村市郎諸氏によつて一様に注目せられて来た。至誠

4

学が勃興しその為の統計的研究方法の確立は斯うして一般常民の為のものとなって来たのである。それと共に実際的に役立つできものへの興味は統計の実用性を強調し、統計教育、統計の利用等の綜合的な理論的統一といふことへと向いてゐる。

以上で重要な潮流を覽見したがその著名なる学者が統計学を如何に理解してなされたかについては詳細なる統計学説史に期待することゝしやう。（小島勝治稿）

目録・索引

事項別目錄

A.文献解説

1 経済法律文献目録(2冊)　神戸商大商業研究所
　　至2,版6　P.2,732　至文館

2 法政経済社會論文総覧　天野敬太郎
　　昭2・3　P.1,360　刀江書院

3 法政経済社會論文総覧(續)　天野敬太郎
　　昭3・10　P.431　索引442　刀江書院

4 統計彙誌総目録　東京統計協會
　　昭11・2　P.225　東京統計協會

5 統計研究文献　岡崎文規
　　大14・12　P.343　有斐閣

6 本邦統計資料解説(實務統計學講座18)　後藤貞治
　　昭11・9　P.249　叢文閣

7 統計書解題(柳澤統計研究36)　阪本敦
　　昭8・　柳澤統計研究所

8 主要統計書件名索引(2冊)　駿河台圖書館
　　昭9・

A—16

9 統計資料解題　内閣統計局
昭11・12 P.571 索引 8　全國經濟調査機関聯合會

10 統計圖並書籍陳列目録　内閣統計局
大5・　同上局

11 本邦社會統計資料解説(経済学全集52)　高野岩三郎
昭8・5　P.157　改造社

12 最近本邦社會統計資料(大原社會問題研究所パンフレット16)
高野岩三郎著　大13・8　同人社

13 スタチスチック雑誌総目録

14 研究調査参考文献総覧　波多野賢一・弥吉光長
昭9・3　P.677 索引237 朝田書房

15 官廳刊行圖書目録　内閣印刷局

16 統計調査に関する各官廳刊行書概覧　内閣統計局
大12・　経済調査會

B—10

B. 總　論

1 統計事務家必携　和田覓尓
明18・7　P.101

2 統計要覧　小野弥一

3 統計学(上)(経済学全集35)　有澤・小倉・森
昭5・8　P.546　改造社

4 統計学(下)(経済学全集44)　竹下・藤本・小林・森
昭5・11　P.587　改造社

5 統計学総論(経済学全集35)　有澤廣巳
昭5・8　P.132　改造社

6 統計学(経済学大系　)　藤本幸太郎
千倉書房

7 統計学(慶應義塾経済学)　寺尾琢磨

8 統計学(現代経済学全集20)　汐見三郎
昭4・5　P.407　日本評論社

9 統計学　大内武次
大13・2　巻P.170　文信社

10 統計学　高野岩三郎
大12・3　巻P.172　文信社

B-20

11 統計学　松崎充之助
明30・9　筆記 P.100

12 統計学　藤澤利喜太郎
明31・2　筆記 P.38

13 統計学(昭9講義案)　財部静治
昭9・　謄 P.113　甲文堂

14 統計学(昭12講義案)(3冊)　財部静治
昭12・　謄　甲文堂

15 統計学　廣部周助
不明　P.240　京都法政専門学校

16 統計学講義 第1分冊　宗藤圭三
昭2・4　P.244　平野書店

17 統計学講義　郡菊之助
大15・3　P.237　同文館

18 統計学講義(大阪商大講義案)　豊崎稔
昭9・　謄

19 統計学講義　宮川武雄
昭9・10　謄 P.215　甲文堂書店

20 統計学講義案　小林進
大11・10　P.207　明善堂

B-31

21 統計講話　河合利安
明45・7　P.38　民友社

22 統計学講義 上　有澤廣巳
昭9・4　P.311　明善社

23 ×一般統計学(實務統計学講座7)　有澤廣巳
叢文閣

24 統計学綱要 上　二階堂保則
大12・2　P.196　秦文社

25 統計学汎論(社會科学講座5)　高野岩三郎
昭6・6　P.33　誠文堂

26 統計通論　横山雅男
明34・7　P.463　有斐閣

27 統計学(早稲田講義録)　横山雅男
P.392　時事新報社出版部

28 統計学講義　横山雅男
川流堂

29 統計原論　吳文聰
明22・

30 純正統計学　吳文聰
明34・5　P.140　丸善

31 實際統計学　吳文聰
明42・8　P.612　丸善

B-43

32 最新統計学（帝國百科全書40） 夏秋亀一
明32・12 p.324 博文館

33 統計讀本 細野繁壯

34 統計学入門 田村市郎
昭13・3 丸善

35 新統計力学 竹内時男

36 統計学原論 竹下清松
昭2・3 p.329 厳松堂

37 最新統計原論 前 小林進
大12・12 p.144 ダイヤモンド社

38 理論統計学 戸田海市
出版年月不明 謄 不明

39 統計学原理 道家斉一郎

40 統計学原理 上 宗藤圭三
昭5・4 p.138 弘文堂

41 統計学原理 下 宗藤圭三
昭5・11 p.392 弘文堂

42 統計学原理 宗藤圭三
昭5・12 p.530 弘文堂

43 X統計論理学（新鋭哲学叢書） 高山峻
高陽書院

B-54

44 統計要義 政岡孝
明41・4 p.238 同人

45 統計学要論（實用教育新撰百科全書23） 坪谷善四郎
出版年月不明 p.90 博文館

46 統計学概論 森數樹
大13・1 p.310 厳松堂

47 一般統計論 森數樹
大9・11 p.348 丸善
（原著・Yule：An Introduction to the Theory of Statistics）

48 統計学概論 森田優三

49 統計法概要 佐藤良一郎
大15・

50 統計学概論 保田栄
昭12・ p.265 知遊社

51 參考統計学 道家斉一郎
昭3・ p.1.120 厳松堂

52 統計学表解 森田宗太郎
明42・11 p.36 清明堂

53 統計各論（経済全書6-4） 宝文館

54 統計大綱 大日本私立衛生會編
明31・1 p.18 同上會

B－66

55 統計学大綱　最上孝敬

56 統計学汎論（経済全書6－3）　松崎尭之助
明43・10　P.68　空文館

57 統計学研究　郡菊之助
昭5・　同文館

58 統計学研究　高野岩三郎
大4・5　P.656　大倉書店

59 統計研究法の基礎　中川友長
昭3・9　P.282　日本評論社

60 統計学初歩（数学講座）（4冊）　成實清松
昭9・6　共立社

61 大数法論（法律学経済学研究叢書16）　高田保馬
大4・7　P.330　京都法学會

62 中等学校数学科教材としての統計法（師範大学教育講座－数学講座）
中川敷太郎著

63 統計調査（政治行政講座）　長谷川雄夫
政治教育協會

64 統計調査（自治行政叢書2）　高田太一
昭9・3　P.643　常盤書房

65 統計法及統計観念の本質　木村敬雄

66 統計法概要　木村敬雄

B－76

67 物理学に於ける統計的現象（科学文献抄15）　福島浩
岩波書店

68 教育的統計法序説　淀川茂重
昭7・

69 國際統計會議の概況（彙報別刷8）　阿部寿準
大13・　P.28

70 社會調査　戸田貞三
昭8・12　P.437　時潮社

71 社會統計論綱　財部静治
明44・11　P.558　巌松堂

72 ケトレーの研究（法律学経済学研究叢書8）　財部静治
明44・6　P.312　京都法学會

73 社會統計学史　財部静治

74 X 統計学發達史（實務統計学講座16）　財部静治

75 スタチスチック歴史　吳文聰
（原著 John; Der Name Statistik）
明20・10　P.43　今井藤四郎

76 社會統計学史研究 1　高野岩三郎
大14・9　P.196　同人社

B－86

77 柳澤保惠統計選集(柳澤統計研究所季報)柳澤保惠
昭 12・ 柳澤統計研究所

78 生物統計学 上田常吉
岩波書店

79 × 生物統計の實際(實務統計学講座14)上田常吉
叢文閣

80 社會学的研究 高田保馬
大7・12・ P. 376 宝文館
(統計的方法と歸納法・生死減少逆行の法則・貧富と出生率)

81 日本統計要覽 横山雅男
文昌堂

82 平民の目さまし 横山雅男
文昌堂

83 統計をしへ草 横山雅男
同志倶樂部

84 統計の大意 横山雅男
旧山陽鉄道株式會社

85 商工政策財政及統計 城金久
昭 2・12 約P. 30 聚文堂

86 統計詳説 吳文聰
明 20・7 P. 280 鳳文館

B－95

87 應用統計学 吳文聰
明 21・6 P. 304 富山房

88 統計学論 吳文聰
(原著 Wappaiis: Einleitung in das Studuim der Statistik)
明 22・2 飯述 P. 375 博閏社

89 統計学 吳文聰
明 21・10 P. 232 丕明

90 理論統計学 吳文聰
明 28・12 P. 125 富山房

91 統計の神髓(社會狀態学) 吳文聰
(原著 エルンスト、エンゲル)
明 27・2 訳述 P. 158 富山房

92 統計實話 吳文聰
明 32・4 P. 370 丸善

93 國債政表 吳文聰
明

94 統計学 吳文聰
明 23・3 P. 462 博文館

95 統計余談 郡菊之助

96 統計学汎論及経済統計論　東栄二・本丸重郎
大12.　新潟縣知事宮房

97 斯氏統計要論　奥文聡
(原著 Mayo Smith ; Statistic and Economics)
明24・10　P.143　磯部太郎兵衛

98 統計学の研究　小本利喜雄 訳
(原著 Michael G. Mulhall ; The Study of Statistics)
出版年月不明　P.23　不明

99 統計学（科学研究法の内）　波多野完治
(原著 佛人 リシエアン・マルク)

100 統計方法原論　水科七三郎
(原著 King ; Elements of Statistical Method)
大2・7　P.250　台湾統計協會

101 好耳氏統計学論　高橋勝弘
(原著 オール ; エレマン・ド・スタチスチック)
明44・11　P.28　不明

102 統計法　福本福三
(原著 F. C. Mills ; Statistical Methods applied to Economics and Business)

103 統計原論　森數樹
(原著 Bowley ; Elements of Statistics)
昭3・　P.403　巌松堂

104 統計的中數値論　岡崎文規
(原著 F. Zizek : Die statistischen Mittelwerte)
有斐閣

105 統計学要論　田村市郎
(原著 King : Elements of Statistical Method)
昭2・3　P.351　銀行問題研究會

106 應用統計学　竹田武男
(原著 Zizek F. ; Grundriss der Statistik)
大14・1　P.674　有斐閣

107 統計学と弁証法　堀江色一 訳
(原著 エム・エヌ・スミット ; ソヴエト統計学の理論と實践)
昭11・6　P.212　ナウカ社

108 蓋然性の哲学的考察　伊藤德之助
(原著 ラプラス ; Theorie analytique des Probabilités)
昭6・1　P.331　岩波書店

109 統計叢書 1　統計学社
大14・3　統計学社
統計学(其作意義)国勢調査論　文部省
明7・6　10冊　約500枚
表記提要(津田眞道)　明治7・10発行
統計学大意(白田重明)　明治8発行
統計須知(室田二郎)
国民統計学(城越愛国)

B－118

110 統計学(國勢略論)　　巽作麟祥
(原書 Morean de Jonne's ; Element de Statistique)
明7・6　10冊 約500枚 文部省

111 表紀提要　　津田眞道
(原書 Vischrieng ; Statistik
明7・10

112 統計学大意　　石田重明
(原書 Encyclopaedia Britanica)
明8

113 統計須知　　望月二郎

114 國民統計学　　堀越愛國

115 表紀提要(明治文化全集 9)　　津田眞道

116 統計入門　　高橋二郎訳
(原著 ガルニエー ; エレマン・ド・スタチスチック)
明16・2　P. 94　玉女堂

117 統計論　　小野清藏
明17・8　P. 304　金剛閣
(魯格一　統計論　原著名不明)

118 統計学概論(岩波全書)　　蜷川虎三
昭4・10　P. 324　岩波書店

B－125

119 統計利用に於ける基本問題　　蜷川虎三
昭7・12　P. 364　岩波書店

120 統計学研究 I　　蜷川虎三
昭6・6　P. 276　岩波書店

121 × 統計学總論(統計学全集 1)　　蜷川虎三
東洋出版社

122 統計学總論 上　　錦織理一

123 統計学　　吳文聰
出版年月不明　P. 274　不明

124 現代社會の諸研究　　高田保馬
大3・2　岩波書店
(所得のパレト線に就て、收益の立を論ず、日本に於ける出生率増加の原因、最近の出生率減少について)

125 統計学　　二階堂保則
出版年月不明　P. 166　東京高等商業学會

B－

C 數理統計

1 統計的研究法　　小倉金之助
大 14・6　P.735　　積善館

2 × 數理統計学（統計学全集2）　　小倉金之助
東洋出版社

3 × 數理統計（實務統計學講座 2）　　小倉金之助
叢文閣

4 數理統計（経済学全集 55）　　小倉金之助
昭 5・8　P.145　　改造社

5 數理統計学　　松村宗治
昭 12・6

6 數理統計学概論　　成實清松

7 數理統計学（岩波講座 數学）　　成實清松
岩波書店

8 統計數学　　北村友圭

9 × 統計數学（三笠屋全書）　　三野博信
三笠書房

10　確率論及び其の應用（高等數学講座）　亀田豊治郎
共立社

11　確率論（輕近高等數学講座）　渡辺孫一郎
共立社

D. 人口統計

1　統計の概念と人口調査談　政岡亨
明 36・

2　人口統計研究　岡崎文規
大 14・　有斐閣

3　人口統計に於ける問題　岡崎文規
昭 3・　p. 250　立命館出版部

4　人口統計論（統計学全集3）　森數樹
昭 10・5　p. 414　東洋出版社

5　人口及人口問題　本庄栄次郎
昭 5・12　p. 258　日本評論社

6　本邦人口の現在及將来　高野岩三郎
大 5・10　p. 188　同人社

7 × 人口統計（實務統計学講座 3）　館稔
義文閣

8　職業統計問題研究　岡崎文規
昭 8・　p. 359　日本評論社

D－16

9 × 職業統計論（統計学全集 4） 汝安亮一
東洋出版社

10 國勢調査論（統計学全集 11） 岡崎文規
昭 10・8 P. 422 東洋出版社

11 國勢調査問題講話 財部靜治
大 9・6 P. 313 丸文堂

12 婚姻論 横山雅男
女学雑誌社

13 人口統計（経済学全集 35） 森數樹
昭 5・8 P. 245 改造社

14 人口と統計 今井栄之訳
（原著 Whipple：Vital Statistics）
大 10・10 P. 372 帝国地方行政学会

15 人生論 吳文聚
出版年月不明 原本 100 枚

16 民勢統計大意 河合利安
明 39・7 不明

D－24

17 人口統計の大意（統計集誌抜刷） 花房直三郎
大 4・3 P. 24 東京統計協會

18 人口問題 亀田豊治郎，大場實治
大 9・3 P. 176 冬夏社

19 各國參照國勢調査法 高橋二郎
明 36・2 P. 220 民友社

20 國勢調査と帝國議會 柳澤保惠
明 38・4 P. 63

21 國勢調査要綱 宮本基
明 40・6 P. 307 西東書房

22 國勢及市勢調査法 高橋二郎
明 41・11 P. 278 民友社

23 國勢調査參考書 國勢調査準備委員會
明 44・2 P. 639

24 國勢調査論（最近経済問題叢書 18） 光岡安藝
大 1・8 P. 435 隆文館

25 國勢調査解説　二階堂保則
大 9・8　p. 22　大阪毎日新聞社

26 國勢調査総覧　二階堂保則
大 9・8　p. 114　第一回国勢調査委員會

27 國民必讀國勢調査について　林 茂淳
大 9・8　p. 115　銀 光 堂

28 本邦人口統計論(経済学全集52)　有澤廣巳
昭 8・5　p. 165　改 造 社

29 本邦人口都市集中の特性に関する統計的分析　林 恵 海
昭 8・

E. 経 済 統 計

1 経済統計学　小林 新
昭 3・2　ダイヤモンド社

2 経済統計学の原理と應用(上)　小林 新
大 14・9　p. 530　ダイヤモンド社

3 経済統計学 上　藤本幸太郎
大 12・1　p. 216　秀 廣 社

4 経済統計　藤本幸太郎
大 14・

5 経済統計の作り方と見方　豊崎 稔
昭 10・12　p. 266　商陽書院

6 経済調査の統計的知識　井上謙二
昭 12・3　p. 462　巌 松 堂

7 経済統計学要論　田井要助

8 × 経済統計(實務統計学講座 8)　蜷川虎三
叢 文 閣

E－17

9 経済統計学 田村市郎
昭 5・12 p. 452 日本評論社

10 経済統計（社會経済大系 16・17） 猪間驥一
昭 3・ p. 55 日本評論社

11 経済統計学（早稲田政治経済講義録 17・18） 小林 新

12 主要経済統計（世界経済問題講座） 寺尾琢磨
春秋社

13 経済統計講話（経済学論攷） 福田徳三
大 10・5 p. 116 大鐙閣

14 経済統計研究 汐見三郎
大 12・1 p. 366 内外出版株式會社

15 経済統計の立体的見方 西川磯吉
昭 13・4 神戸商工會議所

16 × 経済統計讀本 蜷川虎三
清和書院

17 純粋経済学（岩波全書） 中山伊知郎
岩波書店

E－23

18 厚生経済学（最近経済問題叢書） 中山伊知郎

19 數理経済学 中山伊知郎
岩波書店

20 數理経済学（経済学全集 5） 中山伊知郎
昭 7・3 p. 252 改造社

21 經濟及統計 横山雅男
文昌堂

22 経済眼 鳥部静治
昭 8・3 p. 弘文堂

23 経済科学 神戸商大新聞部
甲文堂

23－1 國富統計論の一考察 （高橋正雄著）
23－2 現代統計学の課題 （蜷川虎三著）
23－3 物價水準の複數性 （森田優三著）
23－4 正常性に就いて （永谷一雄著）

E－31

24 × 生計調査（實務統計学講座 11） 藤本幸太郎
叢文閣

25 生計費の研究 青木楢太郎
昭 8・4 P.175 宝文館

26 × 家計統計論（統計学全集 10） 有澤廣巳
東洋出版社

27 國富及國民所得統計（統計学全集 12） 中川友長
昭 10・9 P.413 東洋出版社

28 財政統計 汐見三郎
昭 5・

29 外國貿易統計論 柴田銀次郎
昭 13・3

30 × 貿易統計論（實務統計学講座 5） 柴田銀次郎
叢文閣

31 物價指數の理論と實際（統計学全集 6） 森田優三
昭 10・ 東洋出版社

E－40

32 貨幣金融統計資料解説（現代金融經濟全集 34）
昭 10・12 改造社

33 金融統計論（銀行講座） 石巻良夫
大 15・6 P.348 文雅堂

34 × 保險統計（實務統計学講座 9） 永野一雄
叢文閣

35 物價統計論 風早義雄
昭 5・8 P.237 杉山書店

36 × 金融統計論（實務統計学講座 6） 小林新
叢文閣

37 本邦通貨指數の算定について（經濟学論攷） 福田德三
大 10・5 P.12 大鐙閣

38 物價指數論 郡菊之助
昭 3・5 P.648 同文館

39 經濟豫測法研究 豊崎稔

40 財界の統計的觀測 道家有一郎
昭 7・

E－49

41 × 景気観測論（新経済学全集）　森田優三

42 × 景気観測論（統計学全集 9）　高橋正雄
東洋出版社

43 経済豫測法の研究　松岡孝児
昭 6・

44 財界バロメーター作成に関する資料　三菱合資會社資料課

45 景気指数論　郡菊之助
昭 12・4　大同書院

46 我國の景気循環と景気指数　田村市郎

47 新景気観測論（最近経済問題叢書）　武田丈一
甲文堂

48 景気豫測論　和田種生
昭 5・8　大同書院

49 蚕絲統計論　福本福三
昭 12　成美堂

E－58

50 蚕絲統計論　渡辺友入
大 3・4　P. 183　大日本蚕糸會

51 農商務統計講義　佃野繁旺
大 4・4　P. 246

52 通俗産業統計要綱　渡辺喜入
大 11・7　P. 173　南光社

53 農商工調査心得　矢野廣
大 4・7　P. 94

54 × 産業統計論（統計学全集 5）　長畑健二
東洋出版社

55 産業統計の理論と實際　長澤柳作
昭 2・8　P. 512　統計友之社

56 工業統計（工場経營全書）　小田橋貞寿
昭 12・1　非凡閣

57 商業統計の常識　藤本幸太郎

58 × 産業統計（實務統計学講座 4）　高橋正雄
哲文閣

E－67

59 産業統計講話　吳文聰
大 3・1　p.164　丸善

60 鉄道統計綱要　鉄道院経理局調査課
大 5・11　p.372　東洋書籍出版協会

61 運轉統計の研究　森本宗
昭 3・8　鉄道講習会

62 工場経営統計（工業経營全書）　郡菊之助
昭 12・2　p.362　千倉書房

63 経営統計（實務統計学講座 7）　郡菊之助
叢文閣

64 企業豫算と経営統計の作り方（實用経済講座 7）
岩重至著

65 経営統計（経營学大系）　田村市郎
昭 13・5　千倉書房

66 × 経営統計論（経済学全集 10）　亀井辰雄

67 経営統計（商学全集）　小林新
昭 6・3　p.283　千倉書房

E－74

68 経営統計（経済学全集 44）　小林新
昭 5・11　p.144　改造社

69 経済統計学 2冊　吳文聰
明 35・5－12　p.345・343　早稲田出版部
（原著 Mayo Smith ; Statistics and Economics）

70 経済循環期の統計的研究　蜷川虎三
昭 3・5　p.160　大鎧閣
（原著 H. Moore ; Economic Cycles : Their Law and Coeuse）

71 経済統計学綱要　蜷川虎三
大 14・11　p.258　山海堂
（原著 G.R. Davis ; Introduction to Economic Statistics）

72 工場統計と疲労調査　訳者 柴原弘
昭 7・9

73 富の理論の數学的原理に関する研究
訳者 中山伊知郎　岩波書店

74 経済表　訳者 増井幸雄・戸田正雄
岩波書店

E－81

75 経済豫測の方法　田村市郎
昭 3・4　P.340　大同書院
(原著 C.O. Hardy・G.V. Cox : Forecasting Business Conditions)

76 証券市場に於ける景気観測の原理　石田兵平
昭 13・2
(原著 オットー・ドナー)

77 産業統計の實際　水村　淳
大 1・12　P.180

78 最近本邦生産統計　相原重政
大 3・7　P.248　有斐閣

79 経済学研究　高田保馬
大 13・9　岩波書店

80 景気循環論(経済学全集6・経済学特殊理論上)　小林新
昭 5・5　P.110　改造社

81 経済統計(経済学全集44)　藤本幸太郎
昭 5・11　P.133　改造社

E－88

82 国民所得の構成　土方成美
昭 8・6

83 景気循環に関する諸学説　野村証券株式會社調査部
大同書院

84 経済界季節変動の研究　野村証券株式會社調査部
大 14・12　P.551　大同書院

85 経済界景気変動の研究(上・下)　野村証券株式會社調査部
大同書院

86 経済界運動変動の研究(上・下)　野村証券株式會社調査部
大同書院

87 商店経営の統計的研究　田村市郎
昭 11・　宝文館

88 経済統計学(早稲田政治経済講義録57回)　小林新
昭 6

E－

E－8

F. 社會統計

1. 本邦社會統計論（改造社 經濟学全集52） 高野岩三郎編
昭8・5 P.728 改造社

2 社會統計論（社會問題講座8・3） 岡崎文規
新潮社

3 労働統計論（統計学全集8） 水谷良一
昭15・2 P.408 東洋出版社

4 ×失業統計論（統計学全集7） 中山伊知郎
東洋出版社

5 ×商事統計学（實務統計学講座15） 通商産業省・吉田博人
哀文閣

6 衛生統計の正しい見方と作り方、吉田博人
昭11・1 右文館

7 社會衛生学（岩波全書） 暉峻義等
岩波書店

8 罪業統計に就いて（ルーニン 重宝居作集） 西雅雄訳
白揚社

9 社會統計学　　吳文聰訳
明 33・12　　p.568・　　早稲田出版部
(原著 Mayo-Smith：Statistics and Sociology)

10 職業紹介事業統計（職業紹介事業の国際的研究中国際労働事務局）　　鈴木儀吉訳
(原著 Employment Exchanges an International Study of Placing Activities)
昭 11・4　　p.10　　自彊社

11 社會統計（経済学全集44）　　竹下清松
昭 5・11　　p.154　　改造社

12 労働統計（経済学全集44）　　森數樹
昭 5・11　　p.151　　改造社

13 本邦家計調査（経済学全集52）　　權田保之助
昭 8・5　　p.282　　改造社

14 本邦所得統計論（経済学全集52）　　高橋正雄
昭 8・5　　p.113　　改造社

15 醫学統計法の理論と其應用　　古屋芳雄
昭 9・

G. 文化統計

1 文化統計研究（實務統計学講座 12）　　岡崎文規
昭 11・1　　p.244　　叢文閣

2 國民生活と國民体位　　岡崎文規
昭 13・4

3 道德統計要覽　　加川豊彦・安藤政吉
昭 10・　　p.533　　改造社

4 民教統計論　　高橋二郎

5 教育統計学（政治統計学中ニ收）　　寺田勇吉
明 39・4　　p.227　　同文館

6 教育統計法　　佐藤隆德
大 13・

7 × 教育統計（實務統計学講座 13）　　權田保之助

8 政治統計学　　岡松　侄
明 39・8　　城田英法

H. 圖　　表

1　統計圖表の見方画き方使ひ方　猪間驥一
大 15・6　p 235　東洋経済新報社

2　統計グラフの画き方　白崎享一
昭 11・8　p 125　同春社

3　統計圖表の描き方　石井秀彦

4　圖計算及圖表　小倉金之助
大 12・3　p 165　山海堂

5　小票式製表法　阪本敦
昭 6・8

6　計算及び計算機械　小平吉男

7　統計と圖表(市工叢書 58)　大阪市産業部
大 14・　大阪市役所

8 × 統計圖表の理論と實際(統計學全集 13)　猪間驥一
東洋出版社

H—16

9 統計表とグラフ（實務統計学講座17） 猪間驥一
叢文閣

10 日本経済圖表（経済学全集25） 猪間驥一
昭 5・11 p.448 日本評論社

11 世界経済圖表（経済学全集26） 猪間驥一
昭 6・12 p.383 日本評論社

12 世界経済統計圖表（経済学全集34上） 高橋正雄・有澤廣巳
昭 6・12 p.548 改造社

13 日本経済統計圖表（経済学全集34中） 有澤廣巳
昭 7・7 p.521 改造社

14 日本経済統計圖表（経済学全集34下） 有澤廣巳
昭 7・9 p.498 改造社

15 日本経済統計圖表（経済学全集54補） 有澤廣巳
昭 8・12 p.463 改造社

16 産業合理化（経済学全集） 高橋正雄・有澤廣巳
改造社

H—19

17 グラフの實用 松下俊雄
大12・6 p.61 内外出版株式會社

18 グラフ教授 新宮常次郎
大11・8 p.282 修文館

19 表表實務心得（政治統計学中） 高橋二郎
明39・8 坂田長法

I－4

I. 其　　他

1　統計法規類抄　　内閣統計局

2　統計法規上（實務統計学講座19）　　森　數樹
BG 10・10　P.513　　叢文閣

3 x 統計法規下（實務統計学講座20）　　森　數樹
叢文閣

4 x 統計学辭典（實務統計学講座別卷）　森田優三・伊大知良太郎
叢文閣

著者別索引

—(A)—

阿部寿準　　國際統計会議の概況（B－69）

相原重政　　最近本邦統計資料（E－78）

天野　瓜　　農商工調査必携（E－33）

天野樹太郎　　法政経済社会論文総覧（A－2・3）

安藤政吉

青木福太郎　　生計費の研究（E－25）

有沢広巳　　統計学総論（B－5）　統計学講義上（B－22）
本邦人口統計論（D－28）世界経済図表（H－12）
日本経済図表（H－13・14・15）
産業合理化（H－16）

東　栄二　　統計学汎論及経済統計論（B－96）

—(D)—

大日本私立衛生会　　統計大綱（B－54）

—(F)—

藤本幸太郎　　統計学（B－6）経済統計学上（E－3）
経済統計（E－4）商業統計の常識（E－57）
経済統計（E－81）

藤沢利喜太郎　　統計学（B－12）

福田德三　経済学論攷（E—13・37）
福本福三　統計法（B—102）垂系統計論（E—49）
福島　浩　物理学に於ける統計的現象（B—67）
古屋芳雄　医学統計法の理論と其応用（F—15）

—(H)—

花房直三郎　人口統計の大意（D—17）
長谷川好先　統計調査（B—63）
波多野完治　統計学（B—99）
波多野賢一　研究調査参考文献総覧（A—14）
林　惠海　本邦人口都市集中の特性に関する統計的分析（D—29）
林　茂淳　国民必読国勢調査について（D—27）
広部周助　統計学（B—15）
土方成美　国民所得の構成（E—82）
本庄栄治郎　人口及人口問題（D—5）
本丸栄二　統計学汎論及至済統計論（B—96）
堀江邑一　統計学と弁証法（B—107）
堀越愛國　國民統計学（B—114）
細野繁荘　統計讀本（B—33）農商務統計講義（E—51）

—(I)—

猪間驥一　経済統計（E—10）統計図表の見方画き方使ひ方（H—1）日本至済図表（H—10）世界至済図表（H—11）
井上謙二　経済調査の統計的智識（E—6）
今井栄之　人口と統計（D—14）
暉峻義等　社会衛生学（F—7）
石田与平　証券市場に於ける景気観測の原理（E—76）
石井秀彦　統計図表の描き方（H—3）
石井良先　金融統計論（E—33）
伊藤德之助　益価性の哲学的考察（B—108）
岩至　至　企業予算と至営統計の作り方（E—64）

—(K)—

賀川豊彦　道徳統計要覧（G—3）
亀田豊次郎　人口問題（D—18）確率論及び其の応用（C—10）
河合利安　民勢統計大意（D—16）統計講話（B—21）
風早義雄　物価統計論（E—35）
本村　淳　産業統計の実際（E—77）
木村教雄　統計法及び統計概念の本質（B—65）
統計法概要（B—66）
北村友圭　統計数学（C—8）
小林　新　経済統計学（E—1）至済統計学の理論と応用上（E—2）経済統計学（E—11）経営統計（E—67）至営統計（E—68）景気循環論（E—80）経済統計学（E—88）

小林　進　統計学講義案（B-20）最新統計原論（B-37）
神戸商大商業研究所　経済法律文献目録（A-1）
郡　菊之助　物価指数論（E-38）景気指数論（E-45）
工場経営統計（E-62）経営統計（E-63）
統計学講義（B-17）統計学研究（B-57）
統計余談（B-95）
国勢調査準備委員会　国勢調査参考書（D-23）
権田保之助　本邦家計調査（F-13）
後藤貞治　本邦統計資料解説（A-6）
呉　文聰　人生論（D-15）社会統計学（F-9）産業統計講話（E-59）経済統計学（E-69）実際統計学（B-31）純正統計学（B-30）統計原論（B-29）スタチスチック歴史（3-75）統計詳説（B-86）応用統計学（B-87）統計学論（B-88）統計学（B-89）理論統計学（B-90）統計の神髄（B-91）国債政表（B-93）統計実語（B-92）統計学（B-94）斯氏統計要論（B-97）統計学（B-123）

—(M)—

政岡　享　統計の概念と人口調査談（D-1）統計要義（B-44）
増井幸雄　経済表（E-74）
松村宗治　数理統計学（C-5）
松岡孝児　経済予測法の研究（E-43）
松下俊雄　グラフの実用（H-17）

松崎蔵之助　統計学（B-11）統計学汎論（B-56）
道家斧一郎　財界の統計的観測（E-40）統計学原理（B-39）
参考統計学（B-51）
宮作麟祥　統計学（B-110）
三菱資料課　財界バロメーター作成に関する資料（E-44）
光岡安芸　国勢調査論（D-24）
宮川武雄　統計学講義（B-19）
宮本　基　国勢調査要論（D-21）
水科七三郎　統計方法原論（B-100）
水谷一雄　正常性に就いて（E-23-4）
水谷良一　労働統計論（F-3）
望月二郎　統計知識（B-113）
最上孝敬　統計学大綱（B-55）
百田重明　統計学入門（B-112）
森　数樹　人口統計学（D-4）人口統計（D-13）労働統計（F-12）統計法規上（1-2）統計学概論（B-46）一般統計論（B-47）統計原論（B-103）
森本　宗　運転統計の研究（E-61）
森田宗太郎　統計学表解（B-52）
森田優三　物価水準の複数性（E-23-3）物価指数の理論と実際（E-37）統計学概論（B-48）
家藤圭三　統計学原理（B-42）統計学講義1（B-16）

—(N)—

長沢柳作　産業統計の理論と実際（E-55）
内閣印刷局　官庭刊行図表目録（A-15）
内閣統計局　統計資料解題（A-9）統計法規類抄（I-1）
統計書並書籍目録列目録（A-10）統計調査に関する各官庭刊行書概覧（A-16）
中川数太郎　中等学校教学科教材としての統計法（B-62）
中川反長　国富及国民所得（E-27）統計研究法の基礎（B-59）
中山伊知郎　純粋経済学（E-17）厚生経済学（E-18）
数理経済学（E-19）数理経済学（E-20）
富の理論の数学的原理に関する研究（E-173）
成実清松　数理統計学概説（C-6）数理統計学（C-7）
統計学初歩（B-60）
夏秋亀一　最新統計学（B-32）
二階堂保則　国勢調査総覧（D-26）国勢調査解説（D-25）
統計学綱要上（B-24）統計学（B-125）
蜷川虎三　現代統計学の課題（E-23-2）経済循環期の統計的研究（E-170）経済統計学綱要（E-171）統計学概論（B-118）統計利用に於ける基本問題（B-119）統計学研究 I（B-120）
西川嚴吉　経済統計の立体的見方（E-15）
錦織理一郎　統計学総論上（B-122）
西　雅雄　農業統計に就いて（F-8）
野村証券調査部　経済界景気変動力の研究（E-85）経済界進歩変動力の研究（E-86）
経済界変動変動力の研究（E-87）景気循環に関する諸学説（E-88）

—(O)—

九場実治　人口問題（D-18）
小平吉男　計算及計算機械（H-6）
小田橋貞寿　工業統計（E-56）
岡松．径　政治統計学（G-8）
岡崎文規　文化統計研究（G-1）国民生活と国民体位（G-2）人口統計研究（D-2）人口統計に於ける問題（D-3）職業統計問題研究（D-8）国勢調査論（D-10）社会統計論（F-2）統計研究文献（A-5）統計的中数値論（B-104）
小倉欽助　統計的研究法（C-1）図計算及図表（H-4）数理統計（C-4）
小野弥一　統計要覧（B-2）
小野清照　統計論（B-117）
大阪市産業部　統計と図表（H-17）
大内武次　統計学（B-9）

—(S)—

阪本　敦　小型式棒表法（H-5）統計書解題（A-7）
佐藤良一郎　統計法概要（B-49）
佐藤隆徳　教育統計法（G-6）
柴原　弘　工場統計と疲労調査（E-72）
柴田銀次郎　外国貿易統計論（E-29）
新宮恒次郎　グラフ教授（H-18）

汐見三郎　経済統計研究（E－14）財政統計（E－28）統計学（B－8）

白崎享一　統計グラフの画き方（H－2）

城　金久　商工政策財政及統計（B－85）

駿河台図書館　主要統計書件名索引（A－8）

鈴木儀吉　職業紹介事業統計（F－10）

—（T）—

田井與助　経済統計学要論（E－17）

高田八一　統計調査（B－64）

高田保馬　九数法論（B－61）社会学的研究（B－80）現代社会の諸研究（B－124）経済学研究（E－79）

高橋勝弘　好耳氏統計学論（B－107）

高橋正雄　産業合理化（H－16）世界経済統計図表（H－12）国富統計論の一考察（E－23－1）本邦所得統計論（F－14）

高橋二郎　統計入門（B－116）製表実務必得（H－19）国勢及市勢調査法（D－22）各国参照国勢調査法（D－19）民教統計論（G－4）

高野岩三郎　本邦人口の現在及将来（D－6）本邦社会統計論（F－1）本邦統計資料（A－11・12）統計学（B－10）統計学汎論（B－25）統計学研究（B－58）社会統計学史研究 1（B－76）

財部静治　国勢調査問題講話（D－11）経済眼（E－22）統計学（B－13）統計学（B－14）社会統計論綱（B－71）ケトレーの研究（B－72）社会統計学史（B－73）

竹田武男　應用統計学（B－106）

武田泉一　新景気観測論（E－47）

竹下清松　社會統計（F－11）、統計学原論（B－36）

竹下時男　新統計学（B－35）

田喜猛雄　醫事統計学（F－5）

田村市郎　経済統計学（E－9）、我国の景気循環と景気指数（E－46）経営統計（E－65）、経済豫測の方法（E－75）商店経営の統計的研究（E－87）統計学入門（B－34）統計学要論（B－105）

寺田勇吉　教育統計学（G－5）

寺尾琢磨　主要経済統計（E－12）、統計学（慶應義塾経済学（B－7）

鉄道院総理調査課　鉄道統計綱要（E－60）

戸田海一　理論統計学（B－38）

戸田正雄　経済表（E－74）

戸田貞三　社會調査（B－70）

統計学社　統計叢書（B－109）

東京統計協會　統計集誌総目録（A－4）

豊崎　稔　経済豫測法研究（E－39）経済統計の作り方と見方（E－5）経済学講義（大阪商大講義案）（B－18）

[illegible]　統計学要論（実用教育新撰百科全書 23）（B－45）

[illegible]　表紀提要（B－115）表紀提要（B－111）

—(U)—

上田常吉　生物統計の実際(B－79)
　　生物統計(B－78)

—(W)—

和田克尓　統計事務家必携(B－1)
和田種生　景気豫測論(E－48)
渡辺友八　蚕糸統計論(E－50
渡辺喜八　通俗産業統計要綱(E－52)
渡辺孫一郎　碎率論(C－11)

—(Y)—

山本利雄　統計学の研究(B－98)
柳沢保恵　國勢調査と帝國議会(D－20)柳沢保恵統計学
　　(B－77)
保田　栄　統計学概論(B－50)
弥吉光長　研究調査参考文献総覧(A－14)
淀川茂重　教育的統計法序説(B－68)

横山雅男　婚姻論(D－12)経済及統計(E－21)統計学講義(B－28)統計学(B－27)統計通論(B－26)日本統計要覧(B－81)平民の目さまし(B－82)統計さしへ草(B－83)統計の九意(B－84)

吉田博人　衛生統計の正しい見方と作り方(F－6)

発行年次別索引

明治	7	箕作麟祥訳	統計学	B-110
	8	百田重明〃	統計学大意	B-112
	16	高橋二郎〃	統計入門	B-116
	17	小野清照	統計論	B-117
	18	和田英尓	統計事務家必携	B- 1
	20	吳 文聰	統計詳説	B- 86
		〃 訳	スタチスチック歴史	B- 75
	21	〃	応用統計学	B- 87
		〃	統計学	B- 89
	22	〃 訳	統計学論	B- 88
		〃	統計原論	B- 29
	23	〃	統計学	B- 94
	24	〃 訳	斯氏統計要論	B- 97
	27	〃 訳	統計の神髄	B- 91
	28	〃	理論統計学	B- 90
	30	松崎蔵之助	統計学	B- 11
	31	大日本私立衛生会	統計大綱	B- 54
		藤沢利喜太郎	統計学	B- 12
	32	吳 文聰	統計実話	B- 92
		夏秋亀一	最新統計学	B- 32
	33	吳 文聰訳	社会統計学	F- 9
	34	〃	純正統計学	B- 30
		横山雅男	統計通論	B- 26

明35−45

明治	35	吳 文聰訳	経済統計学	E− 69
	36	高橋二郎	各國參照國勢調査法	D− 19
		政岡 享	統計の概念と人口調査談	D− 1
	38	柳沢保恵	國勢調査と帝國議会	D− 20
	39	寺田勇吉	教育統計学	G− 5
		高橋二郎	製表實務心得	H− 19
		岡松 徑	政治統計学	G− 8
		河合利安	民勢統計大意	D− 16
	40	宮本 基	國勢調査要談	D− 21
	41	政岡 享	統計要義	B− 44
		高橋二郎	國勢及市勢調査法	D− 22
	42	吳 文聰	實際統計学	B− 31
		森田宗太郎	統計学表解	B− 52
	43	松崎蔵之助	統計学汎論	B− 56
	44	國調準備委員会	國勢調査参考書	D− 23
		財部静治	ケトレーの研究	B− 72
		〃	社会統計論綱	B− 71
		高橋勝弘訳	好耳氏統計学論	B− 101
	45	河合利安	統計講話	B− 21

大1−9

大正	1	光岡安芸	國勢調査論	D− 24
		木村 淳	産業統計の實際	E− 77
	2	水科七三郎訳	統計方法原論	B− 100
	3	吳 文聰	産業統計講話	E− 59
		渡辺亥八	蚕糸統計論	E− 50
		相原重政	最近本邦生産統計	E− 78
	4	花房直三郎	人口統計の大意	D− 17
		細野繁莊	農商務統計講義	E− 51
		高野岩三郎	統計学原論	B− 58
		高田保馬	大数法論	B− 61
		天野 広	農商工調査心得	E− 53
	5	高野岩三郎	本邦人口の現在及將来	D− 6
		鉄道院	鉄道統計綱要	E− 60
		内閣統計局	統計書並書籍陳列目録	A− 10
	6			
	7	高田保馬	社会学的研究	B− 80
		〃	現代社会の諸研究	B− 124
	9	財部静治	國勢調査問題講話	D− 11

大9-12

大正 9	林 茂淳	國民必讀國勢調査について	D- 27
	二階堂保則	國勢調査解説	D- 25
	亀田豊治郎 大場寅治	人口問題	D- 18
	二階堂保則	國勢調査総覧	D- 26
	森 数樹訳	一般統計論	B- 47
10	福田徳三	経済統計講話	E- 13
		本邦通貨指数の算定について	E- 37
	今井栄之訳	人口と統計	D- 14
11	渡辺亥八	通俗産業統計要論	E- 52
	新宮常次郎	グラフ教授	H- 18
	小林 進	統計学講義案	B- 20
12	藤本幸太郎	経済統計学 上	E- 3
	汐見三郎	経済統計研究	E- 14
	二階堂保則	統計学綱要上	B- 24
	高野岩三郎	統計学	B- 10
	小倉金之助	図計算及図表	H- 4
	松下俊雄	グラフの実用	H- 17
	小林 進	最近統計原論前	B- 37
	東 栄二 本丸重郎	統計学汎論及経済統計論	B- 96
	内閣統計局	統計調査上関する各官廳刊行書概覧	A- 16

大13-15

大正 13	森 数樹	統計学概論	B- 46
	大内武次	統計学	B- 9
	高野岩三郎	最近本邦社会統計資料	A- 12
	高田保馬	経済学研究	E- 79
	阿部寿淳	國際統計会議の概況	B- 69
	佐藤隆德	教育統計法	G- 6
14	竹田武男訳	應用統計学	B- 106
	小倉金之助	統計的研究法	C- 1
	小林 新	商業統計学の原理と應用上	E- 2
	高野岩三郎	社会統計学史研究 1	B- 76
	統計学社	統計叢書 1	B- 109
	嵯川虎三訳	経済統計綱要	E- 71
	野村証券調査部	経済界季節変動の研究	E- 84
	岡崎文規	統計研究文献	A- 5
	藤本幸太郎	経済統計	E- 4
	岡崎文規	人口統計研究	D- 2
	大阪市産業部	統計と図表	H- 7
	野村証券調査部	景気循環に関する諸学説	E- 83
15	郡 菊之助	統計学講義	B- 17
	石巻良夫	金融統計論	E- 33
	猪間驥一	経済図表の見方画き方使い方	H- 1
	佐藤良一郎	統計法概要	B- 49
	岡崎文規	社会統計論	F- 2
	野村証券調査部	経済界季節変動の研究	E- 85

大15-昭4

大正 15	野村証券調査部	経済界進歩変動の研究	E－86
	内閣統計局	統計法規類抄	I－1
昭和 2	竹下清松	統計学原論	B－36
	天野敬太郎	法政経済社会論文総覧	A－2
	田村市郎訳	統計学要論	B－105
	宗藤圭三	統計学講義	B－16
	長沢柳作	産業統計の理論と実際	E－55
	城金久	商工政策財政及統計	B－85
	神戸商業研究所	経済法律文献目録	A－1
3	小林新	経済統計学	E－1
	田村市郎訳	経済予測の方法	E－75
	郡菊之助	物價指数論	E－38
	蜷川虎三訳	経済循環期の統計的研究	E－70
	森本栄	運輸統計の研究	E－61
	中川友長	統計研究法の基礎	B－59
	天野敬太郎	法律経済社会論文総覧(續)	A－3
	猪間驥一	経済統計	E－10
	道家斧一郎	参考統計学	B－51
	森数樹訳	統計原論	B－103
4	汐見三郎	統計学	B－8

昭5－6

昭和 5	小林新	景気循環論	E－80
	阿部勇 有沢広巳	産業合理化	H－16
	有沢広巳	統計学総論	B－5
	小倉金之助	数理統計	C－4
	森数樹	人口統計	D－13
	風早義雄	物価統計論	E－35
	和田種生	景気予測論	E－48
	亀田豊治郎	確率論及び其の應用	C－10
	猪間驥一	日本経済図表	H－10
	小林新	経営統計	E－68
	竹下清松	社会統計	F－11
	藤本幸太郎	経済統計	E－81
	森数樹	労働統計	F－12
	本庄栄治郎	人口及人口問題	D－5
	田村市郎	経済統計学	E－9
	宗藤圭三	統計学原理	B－42
	郡菊之助	統計学研究	B－57
	汐見三郎	財政統計	E－28
6	小平吉男	計算及計算機械	H－6
	伊藤德之助訳	ラプラス蓋然性の哲学的考察	B－108
	小林新	経営統計	E－67
	高野岩三郎	統計学汎論	B－25
	蜷川虎三	統計学研究 1	B－120
	阪本敦	小栗式製表法	H－5
	岡崎文規	統計的中数値論	B－104

昭6－8

昭和 6	藤本幸太郎	商業統計の常識	E－57
	猪間驥一	世界経済図表	H－11
	高橋正雄 有沢広巳	世界経済統計図表	H－12
	松岡孝児	経済予測法の研究	E－43
	小林　新	経済統計学	E－88
7	中山伊知郎	数理経済学	E－20
	木村教雄	統計法概要	B－66
	有沢広巳	日本経済統計図表(1)	H－13
	柴原　弘訳	工場統計と疲労調査	E－72
	有沢広巳	日本経済統計図表(2)	H－14
	成実清松	数理統計学概要	C－6
	蜷川虎三	統計利用に於ける基本問題	B－119
	森田優三	統計概論	B－48
	道家斉一郎	財界の統計的観測	E－40
	淀川茂重	教育的統計法序説	B－68
8	成実清松	数理統計学	C－17
	財部静治	経済眼	E－22
	青木福太郎	生計費の研究	E－25
	有沢広巳	本邦人口統計論	D－28

昭8－9

昭和 8	高野岩三郎	本邦社会統計資料	A－11
	高橋正雄	本邦所得統計論	F－14
	椎田保之助	本邦家計調査	F－13
	土方成美	国民所得の構成	E－82
	戸田貞三	社会調査	B－70
	有沢広巳	日本経済統計図表(3)	H－15
	林　恵海	本邦人口都市集中の特性に関する統計的分析	D－29
	岡崎文規	職業統計問題研究	D－8
	阪本　敦	統計書解題	A－7
9	高田太一	統計調査	B－64
	有沢広巳	統計学講義上	B－22
	成実清松	統計学初歩	B－60
	波多野賞一 孫吉光長	研究調査参考文献総覧	A－14
	中川数雄	中等学校数学科教材としての統計法	B－62
	宮川武雄	統計学講義	B－19
	蜷川虎三	統計学概論	B－118
	財部静治	統計学	B－13
	豊崎　稔	統計学講義	B－18
	古屋芳雄	医学統計法の理論と其應用	F－15
	岡崎文規	人口統計に於ける問題	D－3
	駿河台図書館	主要統計書索引	A－8

昭9-11

昭和 9	渡辺孫一郎	確率論	C-11
	賀川豊彦 安藤政吉	道徳統計要覧	G-3
10	上田常吉	生物統計学	B-78
	暉峻義等	社会衛生学	F-7
	森 数樹	人口統計論	D-4
	岩垂 至	企業予算と至営統計の作り方	E-64
	岡崎文規	國勢調査論	D-10
	中川友長	國富及國民所得	E-27
	森 数樹	統計法規上	I-2
	豊崎 稔	生産統計の作り方と見方	E-5
		貨幣金融統計資料解説	E-32
	郡菊之助	至営統計	E-63
	〃	統計余談	B-95
	森田優三	物価指数の理論と実際	E-31
11	岡崎文規	文化統計研究	G-1
	高橋,蜷川,森田,木谷	至産科学	E-23
	吉田博人	衛生統計の正しい見方と作り方	F-6
	東京統計協会	統計集誌目録	A-4
	鈴木僊吉訳	職業紹介事業統計	F-10
	中山伊知郎訳	富の理論の数学的原理に関する研究	E-73

昭11-12

昭和 11	堀江邑一訳	統計学と保証法	B-107
	武田隼一	新景気観測論	E-47
	長谷川赳夫	統計調査	B-63
	白崎享一	統計グラフの画き方	H-2
	後藤貞治	本邦統計資料解説	A-6
	中山伊知郎	厚生至産学	E-18
	増井嘉雄 戸田正雄訳	至産表	E-74
	内閣統計局	統計資料解題	A-9
	田村市郎	商店営業の統計的研究	E-87
12	小田橋貞寿	工業統計	E-56
	郡菊之助	工業至営統計	E-62
	福島 浩	物理学に於ける統計的現象	B-67
	郡菊之助	景気指数論	E-45
	西 雅雄訳	罹業統計に就いて	F-8
	松村泉治	数理統計学	C-5
	井上謙二	経済調査の統計的智識	E-6
	財部静治	統計学	B-14
	柳沢保惠	柳沢保惠統計選集	B-77
	保田 栄	統計学概論	B-50
	福本福三	蚕絲統計論	E-49

昭13

昭和 13

水谷良一	労働統計論	F- 3
石田与平訳	証券市場に於ける景気観測の原理	E- 76
柴田銀次郎	外国貿易統計論	E- 29
田村市郎	統計学入門	B- 34
岡崎文規	國民生活と國民体位	G- 2
西川嶺吉	経済統計の立体的見方	E- 15
田村市郎	経営統計	E- 65
寺尾琢磨	統計学	B- 7

(目録・索引終)

附　　録

雑誌一覧

1 學会刊行雑誌

	発行所	創刊
統計集誌	東京統計協会	明治 13・11
スタチスチック雑誌	スタチスチック社	〃 19・4 (明治24・12廃)
統計学雑誌	統計学社	〃 25・1
日本統計学会年報	日本統計学会	昭和 7・3
統計時報	内閣統計局	大正 10・11
柳沢統計研究所彙報	柳沢統計研究所	
官廳刊行図書目録	内閣印刷局	昭和 2・1

2 地方統計協会刊行雑誌

浪華の鏡	大阪府統計協会	(月刊)	昭和 11・1
宮城統計	宮城縣統計協会	(年4回)	〃 11・4
統計	千葉縣統計協会	(月刊)	〃 4・5
島根の統計	島根縣統計協会	(年3回)	〃 9・4
統計報國	富山縣統計協会	(月刊)	〃 9・4
福島縣統計聯合会々報	福島縣統計協会聯合会	(年4回)	〃 4・4
兵庫統計	兵庫縣統計協会	(月刊)	〃 6・5
統計界	岩手縣統計協会	(月刊)	〃 5・2
上毛の力	群馬縣統計協会	(年4回)	〃 12・8

トウケイ	鳥取縣統計協会	(年2回)	昭和11・8
徳島縣統計時報	徳島縣統計協会	(年4回)	〃 12・9
茨木統計	茨木縣統計協会	(年6回)	〃 10・1
統計時報	秋田縣統計協会	(月刊)	〃 11・8
統計雑誌いしずゑ	福岡縣統計協会	(月刊)	〃 8・5
京都府統計研究会誌	京都府統計協会	(年4回)	〃 6・9
統計の山形	山形縣統計協会	(年4回)	〃 10・7
統計	高知縣統計協会	(年4回)	〃 9・1
三豊の統計	大分縣統計協会	(年3回)	〃 11・4
青森縣統計協会々報	青森縣統計協会	(年2回)	
石川縣統計時報	石川縣統計協会	(年2回)	
三重の統計	三重縣統計協会	(月刊)	昭和4・
統計時報	奈良縣統計協会	(月刊)	
和歌山縣勢	和歌山縣統計協会	(月刊)	
	佐賀縣統計協会	(年4回)	
	新潟縣統計協会	(月刊)	
	長崎縣統計協会	(年4回)	
北海道統計	北海道統計協会	(月刊)	昭和 8・5
台湾統計協会雑誌	台湾統計協会		明治37・ (大正12 廢)

補遺

1 統計学論集
(益田熊雄) 昭8.4 136p. 財政金融研究会

2 自治制五十年の統計 (自治制発布五十周年記念論文集)
(稲葉驥一) 昭13.4 東京市政調査会

3 政治算術に見えたる英国大農業 (経済学考証)
(福田徳三) 大7.3 佐藤出版部

4 景気循環論 原著 アー. ピイ. アダムス
(小幸敬一訳) 昭2.10 330p. 同文館

5 本邦に於ける社会経済組織の推移 (社会問題講座)
(高野岩三郎) 28p. 新潮社

6 満州経済統計文献目録
昭7. 満鉄経済調査

7 國勢調査職業名鑑
(内閣統計局) 昭6.3 1,149p. 内閣統計局

8 國勢調査の手引
(元國源之助) 大9.6 17p. 自給社

9 産業統計講義
(実藤豊吉) 昭5.10 (3版) 96p. 静岡縣

10 警察統計教科書
(実藤豊吉) 昭6.9 (6版) 139p. 静岡縣

11 面積図表描写法
(児玉次郎) 昭7.2 135p. 同 〃

12 模範統計図集
(内閣統計局) 大14.8 106枚 東京統計協会

13　農業調査令解説
　　（水谷良一）　昭4.7　83p.　日本法律研究会

14　住宅問題一統計学的研究（文科諸科学論集）
　　（藤本幸太郎）　昭4.11　東京商大一橋新聞部

15　社会問題の調査方法たる「アンケート」（貨幣銀行問題一班）
　　（山崎覺次郎）

経済学辞典（大阪商大経済研究所編）　岩波書店
（第1巻）

16　アンケート　汐見三郎、木村喜一郎
17　移住統計　汐見三郎、木村喜一郎
18　移民統計　菅野和太郎

19　エンゲル・エルンスト　汐見三郎、木村喜一郎
20　外国貿易統計　（商業統計参照）
21　家計調査　汐見三郎、木村喜一郎

（第2巻）

22　教育統計　汐見三郎、木村喜一郎
23　景氣指標　谷口吉彦、
24　経済統計　木村喜一郎
25　経済動態　高田保馬
26　ケトレーランベール、アドルフ、シャック
　　汐見三郎、木村喜一郎

27　工業統計　汐見三郎、木村喜一郎
28　國勢調査　汐見三郎、木村喜一郎
29　國富統計　汐見三郎、木村喜一郎
30　國民所得統計　汐見三郎、木村喜一郎
31　婚姻統計　汐見三郎　木村喜一郎
32　コンラード、ヨハネス　森耕二郎

（第3巻）

33　財政統計　汐見三郎、木村喜一郎
34　死亡統計　汐見三郎、木村喜一郎
35　社會統計　汐見三郎、木村喜一郎
36　出生統計　汐見三郎、木村喜一郎
37　シュワーベの法則　宮田喜代蔵

38　商業統計　汐見三郎　木村喜一郎
39　職業統計　汐見三郎　木村喜一郎
40　所得統計　（國民所得統計参照）
41　人口史　西山栄久

42	人口静態統計	(人口統計及國勢調査参照)
43	人口調査	(國勢調査参照)
44	人口統計	汐見三郎、木村喜一郎
45	人口動態統計	(他欄参照)
46	人口問題	永井亨
47	人口論	吉田秀夫
48	推算	汐見三郎、木村喜一郎
49	杉亨二	黒羽兵治郎
50	政治統計	汐見三郎　木村喜一郎
51	静態統計	汐見三郎　木村喜一郎

〔第4巻〕

52	第一次統計	(第二次統計参照)
53	対數圖表	(統計圖表参照)
54	大數の法則	汐見三郎、益田熊雄
55	第二次統計	汐見三郎、益田熊雄
56	大量観察	(統計学参照)
57	大量現象	蜷川虎三
58	中位數	(平均参照)
59	抽出調査	汐見三郎、益田熊雄
60	貨銀指數	汐見三郎、益田熊雄
61	統計学	蜷川虎三
62	統計学史	蜷川虎三
63	統計機関	汐見三郎　益田熊雄

64	統計系列	蜷川虎三
65	統計圖表	汐見三郎　益田熊雄
66	統計的法則	蜷川虎三
67	動態統計	汐見三郎　益田熊雄
68	道德統計	汐見三郎　益田熊雄
69	並み數	(平均参照)
70	日本人口史	本庄栄治郎
71	農業統計	汐見三郎　益田熊雄
72	農村調査	杉野忠夫
73	破産統計	斉藤常三郎
74	パレトの法則	大野鶴吉次

〔第5巻〕

75	標本調査	汐見三郎　益田熊雄
76	平均	蜷川虎三
77	物價指數	
78	平均偏差	蜷川虎三
79	標準偏差	蜷川虎三
82	ボーレー、アーサー、リオン	汐見三郎、益田熊雄
83	マイヤー、ゲオルク、フオン	蜷川虎三
84	モード	蜷川虎三

補85-104

85 率芽米價　蜷川虎三
86 歴史学派
87 労働統計　岡崎文規
88 ローレンズ、カーヴ　蜷川虎三
89 歪度　益田熊雄

90 フイッシャー、アーヴイング　小泉計太郎
91 ピアソン、ニコラス、ゼラールド、
山口正太郎
92 ビジネス、バロメーター
蜷川虎三
93 米價基準　蜷川虎三

（追補）

94 確率論　永谷一雄
95 舊派統計学　（統計学史参照）
96 金物價　松岡孝兒
97 金物價指數　（金物價参照）
98 グラフ　豊崎稔

99 經營統計　木村喜一郎
100 景氣変動統計　豊崎稔
101 工場統計　岡崎文規
102 厚生指數　豊崎稔
103 國民所得　福井孝治
104 生計費指數　森田優三

補105-113

105 統計の階級性　蜷川虎三
106 日本の國民所得統計　汐見三郎　柏井象雄
107 農家の生計　大槻正男
108 飛躍の原理　宋藤圭三
109 文化統計　岡崎文規

110 統計的商店經營法　野村證券調査部
111 経済学の領域及び方法（世界大思想全集第1期74）
キインズ　昭8.10　春秋社
112 戰爭と経済総動員—工業総動員の統計的研究
ベルリン景氣研究所
宮西義男訳　昭13.　慶應書房

113 家計統計に就て（社会政策学会論叢6—生計費問題）
神戸正雄　大2.

経済大辞書、商業大辞書中の項目、其他以上に掲載せざりしものは別に追補篇を刊行す。

補114-119

杉　亨二博士の著書

114　形勢学論　飜譯

115　交易通史　（4巻）

116　西説本候

117　國政党派論

118　蘭客種痘辨

119　杉先生講演集

正　誤

	頁	行	正	誤
解説	5	9	観念態	観念体
	6	16	「統計学」	「統計学
		22	してゐるが	してゐが
		26	「統計詳説」	「統計評説」
索引	43		A ノ下ニ「阿部勇　産業合理化（H-16）」ヲ挿入	
	45		木村栄ノ部「経済統計学（E-88）」ヲ抹消	
	50		高橋正雄ノ部「産業合理化（H-16）」ヲ抹消	
	52		「渡辺春八」ヲ抹消	
	55		明治7ノ2行目「津田眞道　表紀提要（B-111）」ヲ挿入 明治8ノ2行目「堀越愛国　国民統計学（B-114）」ヲ挿入	

1. 雑誌一覧には統計及び統計学寄附のもののみを收載した。
2. 発行年次別索引には発行年不詳のものは省略した。
3. 目録中　編者未見のもので他書より孫引したものが2,3あり、誤謬があれば追って訂正する。
4. 目録中　脱漏空白の部分は補遺と共に後日之を発行する本書の追報により加入せられたい。

限定55部ノ内 第　　號

昭和13年7月10日印刷
13年7月15日発行
統計学文献 上
(非賣品)
著作.発行
兼印刷者　小島勝治
大阪府布施市西堤74
発行所
大阪統計談話會
大阪府布施市西堤74

=16P96

71
12